

1. 科目名 (単位数)	日本語教育実習 I (2単位)	3. 科目番号	EJJP4361						
2. 授業担当教員	松浦 康世								
4. 授業形態	講義、グループ討議、発表、模擬授業等	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係	履修要項の日本語教育実習のページを参照のこと								
7. 講義概要	これまでの授業で学んできた日本語の教え方や教案の書き方を振り返りながら、それらを用いて模擬授業や教壇実習が行えるように取り組んでいく。まず、オリエンテーションにおいて、本講座の概要・目標・課題等を説明する。本講座では、主に初級教材において、どのような理論に沿って練習方法が導入されているか、概観しながら教材分析を行う。授業見学において実践的な授業計画の立て方や授業活動のあり方について考える。その後、実際に教案を作成するなどの授業準備をし、模擬授業を行う。模擬授業によって教壇実習に見合う授業のシミュレーション活動に取り組み、最終的に教壇実習を目指す。教壇実習では、これまでの一連の授業準備を含め日本語教授における基礎力を養う。教壇実習後は実習ノートを作成し、報告書を作成する。以上の活動を通し、日本語教育の具体的な方法・工夫・問題などに気づき、今後の実践に生かす。また、模擬授業や教壇実習を含め教育実習全体の振り返りを通して、日本語教育に必要な実践力を図っていく。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションにおいて示された、教育実習についての取り組みが理解できる。 2. 授業見学において実践的な授業の立て方が理解できる。 3. 初級教材の各課の目的を理解し、目的に沿った授業計画や教案が作成できる。 4. 授業計画や教案に沿って、授業準備を行い、模擬授業が行える。 5. 模擬授業を踏まえ、教壇実習において実践的な授業活動が行える。 6. 教育実習全体を振り返り、授業の方法・工夫・問題などに気づくことができる。 								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬授業と教壇実習のための教案と教材 ・ 教育実習ポートフォリオ (実習の目標、授業見学の報告、模擬授業と教壇実習の内省とルーブリック評価、教育実習の成果と課題、今後に向けての抱負) 								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 授業内でプリントを配布する。</p> <p>【参考書】 授業内で適宜紹介する。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションにおいて示された、教育実習についての取り組みが理解できたか。 2. 授業見学において実践的な授業の立て方が理解できたか。 3. 初級教材の各課の目的を理解し、目的に沿った授業計画や教案が作成できたか。 4. 業計画や教案に沿って、授業準備を行い、模擬授業が行えたか。 5. 模擬授業を踏まえ、教壇実習において実践的な授業活動が行えたか。 6. 教育実習全体を振り返り、授業の方法・工夫・問題などに気づくことができたか。 <p>○評定の方法：以下の点を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への参加態度</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>2. 模擬授業・教壇実習</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 提出課題 (ワークシート、教案、レポート等)</td> <td>総合点の 40%</td> </tr> </table>			1. 授業への参加態度	総合点の 30%	2. 模擬授業・教壇実習	総合点の 30%	3. 提出課題 (ワークシート、教案、レポート等)	総合点の 40%
1. 授業への参加態度	総合点の 30%								
2. 模擬授業・教壇実習	総合点の 30%								
3. 提出課題 (ワークシート、教案、レポート等)	総合点の 40%								
12. 受講生へのメッセージ	これまで学んだ日本語教育に関する知識と技能を生かし、集大成として実習に打ち込んでください。初めは不安もあると思いますが、クラスメイトと意見交換しながら自信と実践力をつけていきましょう。								
13. オフィスアワー	初回授業で周知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション (コース内容、実習の進め方、評価方法など)	事前学習	教育実習の意義について考える。						
		事後学習	授業で配布された資料を読み直しておく。						
第2回	教育実習の心構え (実習の目的、目標設定、実習に対する留意事項)	事前学習	教育実習の目的を考え、目標を立てる。						
		事後学習	実習の目標をポートフォリオに記入する。						
第3回	教材研究 (実習に使用する教科書の特徴と指導項目の分析)	事前学習	指定された教科書に目を通しておく。						
		事後学習	実習する単元の学習目標を把握する。						
第4回	授業見学のガイダンス (授業見学の目的と観察項目)	事前学習	授業見学で観察したい事項を記入しておく。						
		事後学習	授業見学で学んだことを記録しておく。						
第5回	授業見学の振り返り、授業準備1 (教案、教材、教具)	事前学習	初回実習の授業展開を考える。						
		事後学習	教案と教材を完成させる。						
第6回	授業準備I、ルーブリック評価の説明	事前学習	授業展開に矛盾がないか、再度確認する。						
		事後学習	意見交換を受けて教案と教材を修正する。						
第7回	模擬授業1、相互評価、振り返り (教壇実習の練習、観察)	事前学習	スムーズに授業を進められるよう練習する。						
		事後学習	模擬授業を振り返り、授業展開を修正する。						
第8回	教壇実習1、相互評価	事前学習	教案を修正し、教材と教具を準備する。						
		事後学習	相互評価で出された意見を記録しておく。						
第9回	教壇実習1の振り返り、ルーブリック評価 (自己評価、目標の再設定)	事前学習	授業を内省し、気づいた点を記録しておく。						
		事後学習	評価と課題をポートフォリオに記入する。						
第10回	授業準備2 (教案・教材の作成、教具の準備、確認)	事前学習	第2回実習の授業展開を考える。						
		事後学習	教案と教材を完成させる。						
第11回	教案発表2、意見交換 (教案・教材・教具の確認、修正)	事前学習	授業展開と教具を確認しておく。						
		事後学習	意見交換を受けて教案と教材を修正する。						

第12回	模擬授業2、相互評価、振り返り (教壇実習の練習、観察)	事前学習	スムーズに授業を進められるよう練習する。
		事後学習	模擬授業を振り返り、授業展開を修正する。
第13回	教壇実習2、相互評価	事前学習	教案を修正し、教材と教具を準備する。
		事後学習	相互評価で出された意見を記録しておく。
第14回	教壇実習2の振り返り、ルーブリック評価 (自己評価、目標の再設定)	事前学習	授業を内省し、気づいた点を記録しておく。
		事後学習	評価と課題をポートフォリオに記入する。
第15回	振り返りスピーチ、講評、アンケート (実習ポートフォリオの完成、提出)	事前学習	振り返りスピーチの原稿を用意する。
		事後学習	実習ポートフォリオを完成させ、提出する。